



Cage Grenache Noir 2022

Wine of Origin Swartland

Grape: Grenache Noir 100%

Vineyard: Langkloof Vineyard

Age of Vines: 22 years

Production: 3600 bottles

世界の主要ワイン市場が、注目する南アフリカはスワートランド産グルナッシュ・ノワール

Vineyards and vines: 樹齢20年以上のブッシュ・ヴァイン（株仕立て）から造るCage Wineのフラッグシップワイン。2020年から栽培契約をしているLangkloof Vineyard（ランクルーフ・ヴィンヤード）のブドウを使用100%。基本的に灌漑をせず、ブドウのポテンシャルを最大限に引き出す。

Vinification: 手摘みで収穫したブドウを一晩ほど冷蔵庫で落ち着かせ、次の日に醸造工程に回す（ブドウの温度が高いと雑味やオフ・フレイヴァーのもととなるため）。約2日程度の前醸しから自発的に発酵が始まる。前醸し過程・発酵過程でも状況を確認しながら、1日に2度ほどポンプオーバーか搾入れをする。約2週間で主発酵終了後、フリーランとプレスジュース別々に500Lと300Lのフレンチオークの古樽入れ、熟成過程へと送る。

Maturation: 黒ブドウが持つピュアな果実味やエレガントさをそのまま活かしたく、5年目以降のフレンチオークの古樽を使用している。約10か月の熟成を経て瓶詰（荒ろ過あり、清澄やその他の処理はしない）。

【Cage】とは、

『C』 Capeの地に畏敬の念を込めて

『A』 師匠であるAdiに感謝の思いを込めて

『G』 Gift ワインは自然からの贈り物

『E』 Earth 地球・自然に畏敬の念を込めて

「ワインは、その土地や人々、そして大地からの恵みを表現した一杯であるべき」

という思いをCageに込めた。

単一品種で、スワートランドの個性を感じられるワインを造りたい。」と常に思っている。毎年試行錯誤を重ねているが、畑がだんだん良くなってきているの、そのポテンシャルをそのままお届けしたい。間違いなく20年は熟成できるポテンシャルがある。もちろん今飲んでもいいと思う。赤系の果実が主体的で、タンニンもエレガントに仕上がっている

ヴィンテージ詳細

【キュヴェ】2ヴィンテージ目となる今ヴィンテージは、他の生産者とも意見交換しながら、マセラシオンの温度を少し上げるなどの工夫を重ね、ワインにエレガントさに骨格がともなった。

【畑】「Lang Kloof／ラング・クルーフ」（契約農家）【土壌】風化した頁岩【植樹】2002年

【仕立て】ブッシュ・ヴァイン【収穫】手摘み【全房使用率】100%

【マセラシオン】14℃で3日間【発酵】30℃手前くらいまで温度を上げながら開放式タンクで約3週間、

野生酵母による自然発酵【アルコール度数】13.0% ◆無清澄

【マロラクティック発酵】あり【熟成】古樽にて10か月間